

水野清一 （みづの せいいち） 考古学者。明治二十八年（二月）二十四日兵庫縣神戶生まれ、昭和四十六年五月二十五日歿（一九〇五—七二）。筆名みづのせい一。昭和二年京都帝國大學文學部卒。雲岡等の石窟調査に當り大きな業績を挙げた。二十四年京都大學入文科學研究所教授、二十七年長廣敏雄共著『雲岡の石窟』により日本學士古史學奨賞を受賞。二十四年京大イラン・アフガニスタン・パキスタン學術調査隊隊長を務めた。

著書『雲岡の石窟とその時代』（内題「雲岡石窟とその時代」昭和十四年十月）二十七頁富山房「支那歴史地理叢書」、『蒙疆に於ける最近の考古學的發見』（北比野丈夫共著、昭和十八年七月五日大阪・大和書院「大東亞學術叢誌」）、『雲岡石窟群』（東方文化研究所雲岡石窟調査概報）（羽館易撮影、昭和十九年六月十五日大阪・朝日新聞大阪本社）、『東亞考古學の發達』（昭和二十二年六月十五日京都・大八洲出版株式會社「古文化叢刊」）等。

